

教科(科目)	福祉(介護総合演習)	実施学年 (履修規定)	第2 学年 必修
単位数	1 単位	教科書	介護総合演習(メヂカルフレンド社)
		副教材	
科目の目標	介護演習や事例研究などの学習をとおして、専門的な知識と技術の深化、統合化を図るとともに、課題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・介護実習と関連づけ、主体的に介護実習に取り組めるようにする。 ・生徒の興味・関心・進路・地域の実態に応じた演習テーマを主体的に考えることができるように配慮する。 ・介護実習と通じて、生徒が自己の課題を考え、介護従事者としての意識を持てるようにする。 ・介護者の安全や倫理について介護実習の取り組みと関連づけて体験的に理解できるようにする。 		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	介護実習とは 事前学習	<ul style="list-style-type: none"> ○介護実習の意義と目的 ・介護実習(基礎実習Ⅱ)の内容 ・介護実習の達成課題と達成目標 ○実習事前準備 ・実習における健康管理・実習前健康診断 	介護実習要項 訪問介護員養成 研修計画 レポート	<ul style="list-style-type: none"> ・介護実習の目的が説明できる。 ・介護実習、訪問介護員研修の内容が説明できる。
5		<ul style="list-style-type: none"> ・実習生プロフィール作成 ○実習記録 ・実習記録を書く際の留意点 ・実習記録の書き方・実習目標の設定 	レポート	<ul style="list-style-type: none"> ・自己を客観的に表現できる。 ・実習準備学習ができています。 ・基礎実習Ⅱの記録の基本的記入方法を習得できています。 ・主体的に目標を設定できている。
	中間考査(内容把握)			
6		<ul style="list-style-type: none"> ○実習施設・利用者の概要 ・居住型施設施設・利用者の理解 ・通所介護施設の介護内容 ・通所介護のプログラム 	実習記録 実習生プロフィール 出席簿 評価票	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の実習施設の概要や施設利用者の状況を理解している。
7		<ul style="list-style-type: none"> ○実習施設オリエンテーション ・各種書類作成とその意義 ・施設事前打ち合わせ ・通学方法確認 	実習打ち合わせ 記録	<ul style="list-style-type: none"> ・実習記録が適切に書けている。
	期末考査(内容把握) 実習施設オリエンテーションの実施			
		<ul style="list-style-type: none"> ○カンファレンス ・カンファレンスの目的 ・カンファレンスの参加の仕方 ○実習生としての基本事項の確認 	実習記録	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスの意義や進め方を理解している。 ・基本的介護技術が習得できている。 ・意欲的に基礎介護実習に取り組んでいる。
	(基礎実習Ⅱ 前期 7/27～8/10)			
8	夏期休暇	<ul style="list-style-type: none"> ○個別介護の理解 ○実習中の健康管理 	実習記録	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で実習前の健康管理が出来る。 ・個別の利用者の理解をすることの目的を理解している。
	(基礎実習Ⅱ 後期 8/27～9/22)			
9	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ○実習の振り返り ・実習記録からの振り返り 	実習記録 実習評価票	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や職員とコミュニケーションが図られている。 ・適切に記録できている。

月	単 元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
10		<ul style="list-style-type: none"> ・実習のお礼 ・実習後感想文 ○目標の達成状況と次への課題 ・実習レポートからの振り返り 	自己評価票 お礼の作品	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先で体験したことを振り返り、整理できる。 ・実習で学んだことを表現できる。
中間考査				
11	訪問介護サービスの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・実習報告会 ○訪問介護（ホームヘルプサービス） ・訪問介護実習の目標 ・介護実習のプログラム ・事前準備 	発表材料 授業観察 実習記録	<ul style="list-style-type: none"> ・実習後の報告を班員と協力して行うことができる。 ・訪問介護について説明できる。 ・在宅訪問の目標を設定できる。
12		<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護実習の留意点 ○実習の振り返り 	実習要項 レポート	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に記録できる。
期末考査（内容把握）				
1		<ul style="list-style-type: none"> ○在宅系サービスの種類と体系 ・訪問介護 <ul style="list-style-type: none"> 訪問介護事業所の設置概要 訪問介護サービス利用者の特徴 訪問介護の内容 訪問介護事業所の実際 	レポート	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護サービスの概要を体験をふまえて説明できる。
2		<ul style="list-style-type: none"> ・通所介護 <ul style="list-style-type: none"> 通所介護事業所の設置概要 通所介護サービス利用者の特徴 通所介護の内容の概要 通所介護事業所の実際 ○地域包括支援センター <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの概要 ・地域包括支援センター見学実習の意義 	レポート 実習記録	<ul style="list-style-type: none"> ・通所介護サービスの概要を体験をふまえて説明できる。 ・地域包括支援センターの概要を体験をふまえて説明できる。
3		<ul style="list-style-type: none"> ○訪問介護員の倫理 ○応用実習に向けた自己覚知と達成課題 <ul style="list-style-type: none"> ・介護過程 	倫理綱領 実習要項 実習記録	<ul style="list-style-type: none"> ・応用実習がイメージできる。
学年末考査（内容把握、介護実習での体験整理）				

評価の観点及び趣旨

科目を3年間で分割履修する2年次である。「介護実習（基礎実習Ⅱ）」は7月下旬から8月初旬に前期、8月下旬から9月中旬までに後期を実施し、合計23日間の実習を実施する。そのため、実習前、実習中、実習後の指導を他の福祉科目と連携し、計画的に指導する。また、2年次は訪問介護員2級養成研修の実習を兼ねるため、通所介護実習、訪問介護員同行訪問実習、地域包括支援センター見学実習等を行う。3年次で学習する介護計画の立案やその実践の基礎となる総合的実習を行う。

① 関心・意欲・態度

介護に関する諸問題について関心を持ち、よりよい介護を目指して、意欲的に取り組むとともに創造的、実践的な態度を身につけている。

② 思考・判断

介護に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、介護活動の現状について適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。

③ 技能・表現

高齢者や障害者に対する基礎的・基本的な介護技術を身に付け、介護活動を計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。

④ 知識・理解

高齢者や障害者に対しての介護に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、介護の意義や役割を理解している。

「基礎介護」の総合評価における各観点の割合

- | | | | |
|------------|--------|---------|--------|
| ① 関心・意欲・態度 | 25 %程度 | ② 思考・判断 | 25 %程度 |
| ③ 技能・表現 | 25 %程度 | ④ 知識・理解 | 25 %程度 |